

「従業員の子育てサポート企業」の認定書交付式を開催しました

平成27年3月5日、群馬労働局において、従業員の子育て支援対策が進んでいるとして認定された3社に対する、認定書交付式を開催しました。



左より、NSKニードルベアリング株式会社 人事課長 米山宏一様、社会福祉法人春風会 施設長 田村りい子様、内田 群馬労働局長、生活協同組合コープぐんま 常務理事 小保方直行様



次世代認定マーク
(愛称：くるみん)

くるみんマークの取得により、**企業イメージの向上、優秀な従業員の採用、モチベーションの向上、人材の定着**などのメリットが期待できます！

認定基準(男性の育児休業取得者がいる、小学校就学の始期まで利用可能な短時間勤務制度等がある、一般事業主行動計画に定めた目標を達成した等)を満たした企業が対象です！

認定書交付式の後、仕事と家庭の両立支援についての懇談会を開催しました。概要は以下のとおりです。



（局長）

地方創生や女性の活躍推進は、国の施策の中でも「一丁目一番地」になっている。労働行政としては、働くことを希望するすべての皆さんに、いきいきと活躍していただく社会を作ることが一番の目的であるが、人口減少社会への対応も重要課題となっている。

２００８年に人口減少に転じ、縮小社会になっており、今までの様に東京が一人勝ちして日本を引っ張っていけるという状況ではないし、男性を中心とした企業戦士が一生懸命頑張れば日本を支えられるという時代でもない。これからは、地方が力を発揮して一緒に盛り上げ、女性を含めたみんなで日本を支えていくことが必要である。

女性の活躍推進は、１０年前も同じように言っていたが、人口減少社会を迎えた現在と当時とは状況が異なり、今まで以上に重要になっている。女性が出産や育児をしながらでも継続して働くことができるよう、働き方を見直していくことが求められるし、男性も、育児などの家庭責任を分かち合えるようにしていかなければならない。

くるみんマークは、仕事と子育てを両立しやすい環境整備を進めている企業の証であり、モデル企業として、こうした取組みを県下の企業にも広く発信していきたいと考えているので、ご協力をお願いしたい。また、今後とも、プラチナくるみんの認定を目指していただく等、更なる取組みをお願いしたい。

（NSKニードルベアリング株式会社）

当社は女性比率が約３分の１であり、製造業としては女性が多い。検査工程では人手で検査をするため、そこに女性が多くなっている。

両立支援制度を整備してから、特に育児休業については１回、２回、３回と複数回取得する者もあり、特別なことではなく、当たり前取得できるという風土になってきている。

今後は、次のステップとして、女性が活躍できる場を増やし、女性の総合職のステップアップを目指してカリキュラムを組んでいきたい。

（社会福祉法人春風会）

私どもの施設は介護、お年寄りのお世話をする老人ホームであり、女性を中心とした施設となっているが、男性も3分の1程いる。若い職員が多いため、小さい子を養育する方も多く、子育てをしながら、職場で楽しくゆとりのある勤務ができるよう、平成24年からは事業所内保育施設も運営している。

男性の育児休業については、男性も育児に参加しなさいと、法人を挙げて取り組んでおり、今のところ、4名の男性が育児休業を取得しており、対象者の80%ぐらいは取れている。家族から大変ありがたられて、「お弁当のおかずが一品増えた」という冗談もでるくらいであり、育児を協力して行うことで家族の絆が深まるという声を聞いている。

今後も、男性についてはどんどん取りなさいと、理事長をはじめ後押ししているので、取得しやすい体制を作っていきたい。

（生活協同組合コープぐんま）

当組合にはパートを含めて1350名程度の職員がおり、女性が多い。一般事業主行動計画の目標として、男性の育児休業取得促進を入れており、呼びかけを強めた結果、今期は2人の取得者が出た。しかし、現状では人手不足で、残業も多くなっており、なかなか男性が取得しにくい状況であるため、職場の理解、協力が重要であると考えている。

所定外労働削減に向けた取組みとして、ノー残業デーも行っているが、人手不足により実施率はなかなか上がらない状況である。

（局長）

建設、福祉業界を中心に、人手不足感が強まっているが、東京が全国で最も求人倍率が高い。群馬県は首都圏からのアクセスが良いので、来やすいのだが、同時にしやすい状況でもあり、瞬間風速的には、群馬から出ていく方が多くなっている。労働局としても、群馬で就職してくれる方が増えるように、しっかり対策を進めていく。

（生活協同組合コープぐんま）

くるみんマークについて、周囲の友人や、家族に話しても、知らない人が多い。もっとPRしてもらえるとありがたい。

（局長）

労働局としても、県の発展、女性の活躍推進のために、くるみんマークの認定企業の周知を積極的に進めるが、企業にとっても、自社の宣伝という意味でも使えるので、どんどん利用していただきたい。

（春風会）

求人募集のチラシにくるみんマークを表示し、事業所内保育施設が利用できる旨も記載しているので、「子どもを預けるところがあれば働くことができる」という経験者の採用に繋がっており、即戦力として活躍している。

（局長）

くるみんマークが浸透することで、人手不足対策にも繋がる可能性もあり、労働局としても周知啓発を行うので、今後とも協力していただきたい。